

東京研修

8月4日(月)～6日(水)の2泊3日の行程で1年生47名(総合自然科学コース41名+希望者6名)が東京・つくば方面への研修に行ってきました。

1日目は東京上野にある国立科学博物館を訪れました。地球館と日本館からなる建物の大きさにまず圧倒されました。地球館では各班ごとに次年度の課題研究のテーマを探るべく、熱心に見聞きしていました。

研究テーマの紹介では、一つのことに敢えて挑み続ける、報われないことの方が多いが、生物は未知の宝庫で、何かしら研究に成果があったときの喜びは、何事にも代えがたい至極の喜びであることなどが記されていました。

2日目は午前中に筑波研究学園都市を訪れました。JAXAの筑波宇宙センターでは、宇宙飛行士コースに参加しました。アニメ「宇宙兄弟」に登場する施設を目の当たりにし、これらが地球を守っている働きをしていることに感動を覚えました。

午後からは、筑波大学を訪れました。本校26回生の西本晴男教授に施設を案内してもらいました。そして、日下教授から「ヒートアイランド現象」についての講義、さらにはプラズマ研究センターで、核融合についての講義をしていただきました。

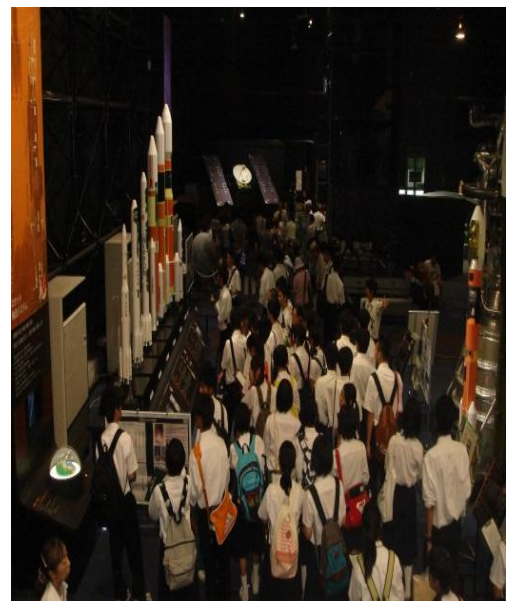
3日目は東京大学を訪れました。本校60回生の松久直志さんの指導教官、染谷教授から「やわらくてかたいエレクトロニクス」について紹介していただきました。

さらに、松久直志さん、本校56回生の松田淳志さんの研究内容や大学受験への取り組みなど、アドバイスをいただきました。

内容の濃い充実した3日間で、参加した生徒達は、最先端の取り組みの実用化を目の当たりにし、自らの肌でそれを感じました。一方では、実用化されたものはたった1%にすぎず、99%は実用化されないが、実用化された1%が大変な喜びであることも知りました。今後の学生生活において、この経験を大いに活かしてくれることを期待しています。



〈生徒感想1(抜粋)〉
3日間の研修を終えて学んだことがたくさんあります。それは、出会った人はみんな先を見つめて研究や実験をしていました。その人たちがいる研究室では、普段の僕たちが目にしている科学技術よりも10年進んでいると聞いて驚きました。だれも知らないことを追及することはカッコいいことだと思います。僕も大学に行って研究がしたいと思います。



〈生徒感想2(抜粋)〉
国立科学博物館では、難しいものが展示されていると思っていただけ、展示されているものの中には、授業で扱っている内容があったので、理解を深めることができました。今回の研修では多くの人の支えがあって成り立ったものなので、感謝したいと思います。

〈生徒感想3(抜粋)〉
JAXAに訪れた時、これが本物かと圧倒されました。人工衛星の話の中で、特に、私たちに身近なマジックテープが使用されている点には驚きました。また宇宙生物学では、メダカを実験に用いていることは初めて知りました。貴重な体験ができました。私も宇宙生物学をさらに学んでみたいと思います。

〈生徒感想4(抜粋)〉
東京大学や筑波大学では、研究についての講話や見学でだけではなく、“大学”という場所はどういった所なのかということも知ることができました。自分の目で実際に見ることは、やっぱり大事なことだと思います。最先端の研究をされている方々の講義から、10年後、20年後を見据えて研究されていることは素晴らしいと思いました。